(一)　第857号　【昭和27年9月25日 第三種郵便物認可】　THE MIIKE　(毎月1日、16日発行) 昭和43年11月1日(金)

迎える怒りの日

発行所
三池炭鉱労仂組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番
③3034番
編集兼発行人 澁田紀生
年間600円 送料共

拠点大集会へ結集

五たびめぐりくる三川大虐殺の日は、三池労組ばかりでなく、炭労、総評、社会党、共産党、社青同などすべての革新勢力にとって怒りの日として、闘いの決起が行なわれる。

当日正午から行なわれる三池大変災五周年九州拠点大集会には、総評から堀井議長、社会党から山花副委員長、炭労から山本委員長の出席が予定されており、このほか社青同や共産党代表も出席の予定である。

三池労組は二十四時間スト を行ない、全組合員、主婦が参加し、両地評、両県評ならびに九州各県評代表など約五千名が結集する予定である。

拠点大集会のあとは合唱詩劇「みいけの闘い」上演があり、全員で三川鉱までデモ行進を行なう。

合理化反対へ決起の日

五周年決起集会のスローガンは一、政府、三井の責任を追及しよう！

二、労仂災害、転業病をすべての職場から追放しよう！

の二つである。

これはCO闘争を闘い、「生命を守る」闘いをひろげる中から第四次合理化反対、殺人合理化反対に全員で立ち上がることを決意することである。

この日を契機に、労仂者の生活と生命を奪わずには生きのびえないこの社会に対する闘いを一層つよめよう。

反戦・平和へ決起の日

またこの日は、われわれ労仂者と同時にベトナム人民を殺りくし、日本の核武装をおしすすめ、自衛隊をより強化し、戦争への道をまっしぐらにすすむ自民党政府にたいして、反戦・平和のわれわれの声をたたきつける日でもある。

政府、三井の責任を追及し、殺人合理化を粉砕し、反戦・平和をかちとるために全員で総決起しよう。

三川大爆発による遺族の現状

(三池労組のみ)

一、地域別の居住

大牟田市内　五十七人
荒尾市内　七十二人
福岡県内(除大牟田)　十二人
熊本県内(除荒尾)　十二人
九州管内(除福岡、熊本)　二人
東京一人　大阪三人　兵庫一人
奈良一人　名古屋一人

二、どんな転についているか

三池縫製工場　二十六人
アソニット工場　四十九人
入替採用(三川)　四人
他産業就転者　二十五人
農業　五人
無転、その他　五十三人

三、どんな労仂条件のもとで仂いているか

縫製工場の場合

就業時間　午前八時十五分から午後五時まで
休憩時間　正午より四十五分間
平均日給(四十三年七月分)　五百二十四円
出勤日数　二十一・二日
月収　一万二千二百五十三円
手取　一万一千百十九円
会社補償(平均)　六千三百円
計　一万七千四百十九円

アソニット工場

就業時間　午前八時十五分から午後五時まで
休憩時間　正午より四十五分間
平均日給
固定給者　五百四十五円
請負給者　七百三十一円
平均出勤日数
固定給者　二十四日
請負給者　二十二・四日
平均月収
固定給者　一万七千三百円
請負給者　一万六千四百二十七円
平均手取額
固定給者　一万六千三百円
請負給者　一万七千四百四十円
会社補償(平均)　七千二百円
請負給者　六千六百円

CO患者の現状

(三池労組のみ)

一、長期傷病給付者　十一人(全員入院中)

二、一時経過観察者　四十六人(うち入院二十二人、通院二十四人)

三、治癒認定を強行された者　二百六十二人

(イ)坑内の転場に復帰した人　三十人
(三川鉱二十九人、宮浦鉱一人)

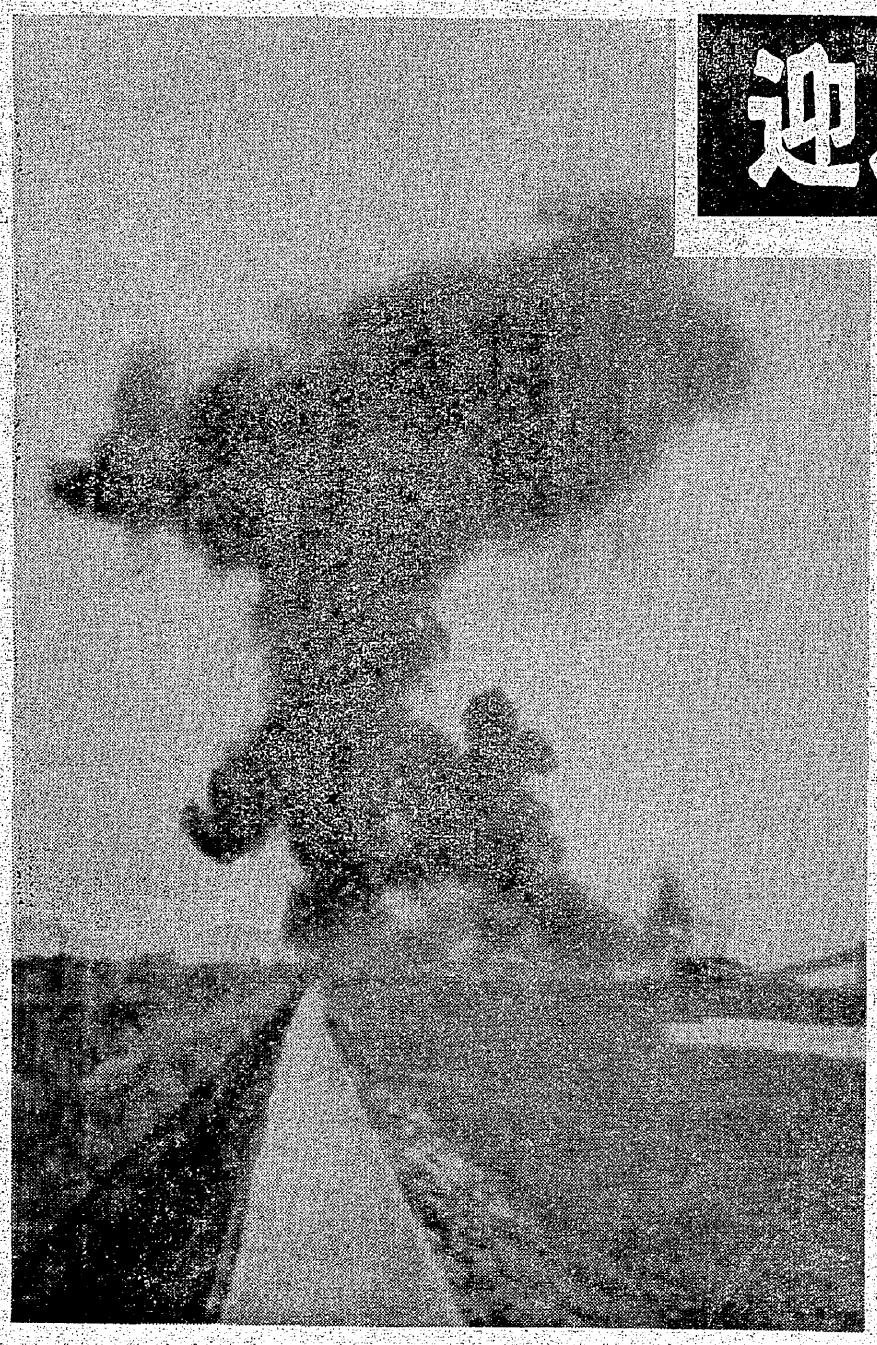
(ロ)坑外軽作業に復帰した人　百三十二人
(三川柵内三十八人、中央工場四十七人、四山工場二十八人、金網工場四人、天領病院十三人、宮浦柵内二人)

(ハ)死亡した人　五人
(ガン四人—肺ガン二人、胃ガン一人、肝臓ガン一人、交通事故一人)

(ニ)退転した人　四十四人
(停年退転三十二人、自己退転十二人)

(ホ)第二組合へ脱落した人　一人

(ヘ)特別訓練を受けている人　五十人
(荒尾回復指導所四十三人、曙病院四人、八代労災病院一人、平井診療所一人、不知火保養院一人)

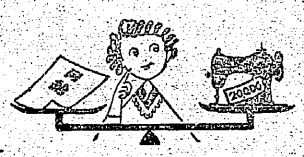


三井よ……
この爆発の責任とれ！

(上の写真は三川鉱炭じん爆発の瞬間をとらえた、貴重なもの)

働くものの生命、働くものの平和を……

全労仂者と共に闘いとろう！



〃石蕗の花が咲きました〃

高椋龍生

ことしも
しぐれにたたかれながら
石蕗の花が咲きました
あの日から
五周忌

いつ果てるともなく
悲しみの色をいっぱいにじませながら
そこしれぬ怒りをこめて
石蕗の花が咲きました

うすれかけた
怒りの火を
かきたてるように
爆発の日がやってくる

三井の大虐殺鬼どもは
あれから
五十名のなかまを殺し
それに
追い打ちをかけるように
宮浦鉱の三川鉱
坑口統合で
ボロもうけし
大量の人殺しをしようとしている

「労仂者は命まで売っていない」
切実な
しかもギリギリの
人間の叫びも聞かず
うむを云わさずに
第二組合幹部を先兵におしたて
ごうごうたる
組合員の不安と不満を
たくみに丸めこみ
一気に押し切ろうとしている

石蕗の花の咲くかぎり
私たちは　許さない
私たちは
いま

三本線を塗りかえ
CO患者まっ殺に
残業も
公休出勤も
ばくはつも
坑内火災も
落盤も
日ましにつのる貧乏も
一つ根から出ている
合理化だと見究め
これと闘う以外に生きる道はない
ことを
意志統一し
阻止の闘いに立上りました

なかまたちも
やがて吹きはじめるであろう北風の
ピケ小屋にぞくぞくと詰めかけ
緊急動員に備え
闘いの行方を見守っている

坑口に
血生まぐさく
黒いツメあとのくすぶるかぎり
三池の歴史の中に生きつづける
あなたたちを包み
COの闘いはつづく

全国にひろがりつつある
「CO患者を守る会」の火
第二のなかまも加入してくれました
そこここからさしのべられる
連帯のこぶし
COの闘いは終っていない
まさに
闘いは　これから
闘いは　いまから

石蕗の花は
そのことを
語りかけている